

本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① な散らしそ。風よ、桜の花を散らすな。
- ② いたくな泣きそ、母の聞きたまはむに。
- ③ ゆめ、人にな語りそ。
- ④ 急ぐな、ゆるゆると参れ。
- ⑤ いかで都に帰らばや。
- ⑥ この笛の音を、今ひとたび聞かばや。
- ⑦ 君が代の千年も、変はらであらなむ。
- ⑧ 雨やみて、月いでなむ。
- ⑨ いつしか春の来なむ。
- ⑩ よき友もがな、ともに語らはむ。
- ⑪ 世の中に絶えて桜のなかりせばと思ふ心もがな。
- ⑫ 命だにあらばと、ただ祈るなり。
- ⑬ あはれ、いと心細き秋の夕暮れかな。
- ⑭ 富士の高嶺に雪は降りけるよ。
- ⑮ 山里は冬ぞさびしきまさりける、訪ふ人もなしと思へば、げに静かなるは。
- ⑯ 言ふべきことは、はやく言へかし。

設問

1. ①「な散らしそ」の「な～そ」は何をあらわすか。漢字二字で答えよ。
2. ②「いたくな泣きそ」を現代語訳せよ。
3. ③「ゆめ、人にな語りそ」の意味として最も適切なものを次から選べ。
 - ア 決して人に語ってほしい
 - イ 決して人に語ってくれるな
 - ウ 人に語りたい
 - エ 人に語るのだなあ
4. ④「急ぐな」の「な」の意味を答えよ。
5. ⑤「帰らばや」の「ばや」の意味として最も適切なものを次から選べ。
 - ア 他人への願望（帰ってほしい）
 - イ 自己の願望（帰りたい）
 - ウ 禁止（帰るな）

- エ 詠嘆 (帰るのだなあ)
6. 願望をあらわす「ばや」と「なむ (未然形接続)」では、願望の主体 (だれの願いか) がどう異なるか。簡潔に説明せよ。(記述)
7. ⑥ 「今ひとたび聞かばや」を現代語訳せよ。
8. ⑦ 「変はらであらなむ」の「なむ」の意味を、次から選べ。
- ア 自己の願望 (～たい)
 - イ 他者への願望 (～してほしい)
 - ウ 禁止 (～するな)
 - エ 念押し (～よ)
9. 「変はらであらなむ」の「なむ」と、「春の来なむ」の「なむ」は、どちらも未然形に接続する終助詞「なむ」である。両者に共通する意味を答えよ。
10. ⑧ 「月いでなむ」の「なむ」は他者への願望をあらわす。これを現代語訳せよ。
11. ⑨ 「いつしか春の来なむ」の「なむ」の意味を答えよ。
12. ⑩ 「よき友もがな」の「もがな」の意味として最も適当なものを次から選べ。
- ア よい友を作るな
 - イ よい友がいるなあ
 - ウ よい友がいればなあ
 - エ よい友よ
13. ⑪ 「思ふ心もがな」の「もがな」の意味を答えよ。
14. ⑫ 「命だにあらば (もがな)」のように、願望の終助詞「もが・もがな・がな」が共通してあらわす意味を答えよ。
15. ⑬ 「心細き秋の夕暮れかな」の「かな」の意味を答えよ。
16. ⑬の「かな」と同じ意味 (詠嘆) をあらわす終助詞を、本文⑭～⑮から一つ抜き出せ。
17. ⑭ 「雪は降りけるよ」の「よ」の意味として最も適当なものを次から選べ。
- ア 禁止
 - イ 自己の願望
 - ウ 念押し
 - エ 詠嘆
18. ⑮ 「げに静かなるは」の「は」の意味を答えよ。
19. ⑯ 「はやく言へかし」の「かし」の意味として最も適当なものを次から選べ。
- ア 禁止 (言うな)
 - イ 願望 (言いたい)
 - ウ 念押し (言えよ)
 - エ 詠嘆 (言うことよ)

20. 禁止をあらわす「な～そ」と、文末の「な」（終止形・連体形などに付く）とでは、禁止のニュアンスにどのような違いがあるか。簡潔に説明せよ。（記述）

21. 次の終助詞の意味を、後の語群からそれぞれ選んで答えよ。

- (1) ばや
- (2) なむ（未然形接続）
- (3) もがな
- (4) かな
- (5) かし
- 〔語群〕 自己の願望／他者への願望／詠嘆／念押し／（物・状態の）願望

22. 「な～そ」の「な」は副詞、「そ」は終助詞であり、間にはさまれる動詞は原則としてある活用形になる。その活用形を答えよ。（カ変・サ変は未然形となる点に注意）